

保健及び社会サービス

概要報告の目的:

- SC-19以降の活動について EB-148 に情報を提供する
- 2016年中に計画されている活動について EB-148 に情報を提供する

関連事項:

- ✓ 保健・社会サービス、民営化、気候、質の高い公共サービス分野で現在進められている活動

背景: 世界中の保健サービスは年間 12 兆米ドル以上に相当すると実業界は推計しており、民営化はほぼすべての国で加速化している。保健部門は多くの領域から成り立っており、全体的な民営化傾向は気づきにくいかもしれない。PSI はこうした民営化と闘う加盟組合を助け、公共の施設と民営化された施設の両方の労働者を組織化するための能力を高める。保健労働者の労働安全衛生の保護と促進の状況にはばらつきがある。国際基準の批准をもっと広める必要があり、各国で基準が実施されなければならない、職場や支部レベルで具体的な保護の手立てを団体交渉文書の中にも含める必要がある。こうした努力が必要なのは、経費節減の措置として労働安全衛生を削減し、労働安全衛生の規制自体を民営化しようとする全般的な傾向に反対しなければならないからである。

議論:

新しい保健・社会サービスオフィサーの選考のプロセスは 2016 年 2 月に開始され、2016 年 5 月に完了する予定である。

新規メンバーの勧誘

2015 年中に、PSI は保健部門の労働者を組織化するための 3 つの取組みを開始した。:

1. ひとつは、フィリピンの民間保健事業者が焦点である。当初のスコーピングによってマニラ首都圏の大手病院企業を割り出した、そしてこれらの労働者を AFW の組合に加入させるための現実的で、積極的なキャンペーンに必要な条件が何であるかを突き止めた。新しいアプローチに対する十分な支持を得るために、組織化計画が彼らの大会で組合員によって承認された。資源は PSI、SEIU および労組 AFW から配分される。
2. ふたつ目の取組みでは米州で地域としてのアプローチをとり、民間部門の投資をマッピングして、ブラジルとアルゼンチン、チリ、コロンビア及びメキシコで組織化画を打ち出す。UNISON と PSI の支援を受けて、組合とのリサーチならびに研修活動が始まっている。
3. 3 つ目は、東アフリカでの実験プロジェクトで、ニーズと能力について判断を下すために現在組合と話し合っている。

保健分野の雇用と経済成長に関する国連委員会 (CHEEG)

ローザ・パヴァネリ PSI 書記長は、新たに国連が設置した保健分野の雇用と経済成長に関するハイレベル・コミッションに任命された。この委員会の目的は、グローバルな包括的経済成長に寄与するヘルスケア労働者、ディーセントな雇用の創出、すべての人の健康な生活と福祉をあらゆる年齢で確保することに関する行動を加盟国に提案することである。委員会は、ヘルスケアの提供において女性が重要な役割を果たすことと、特に 2030 年までに開発途上世界で 1800 万人の保健職員が不足するとの WHO の予測に対処するために 2030 年までに保健部門で 4 千万の新たな雇用が必要であることに注目した。

委員会は、フランソワ・オランド仏大統領とジェイコブ・ズーマ南ア大統領が共同議長を務めた。副議長は ILO、WHO および OECD から出た。第一回会合は 2016 年 3 月 23 日にフランスのリヨンで開かれた。PSI のメッセージは、ヘルスケア・サービスを誰もが利用できるようにするために必要な、公共投資、保健職員のディーセントな労働条件、グローバルな税改革、公共サービスよりも利潤を優先させる貿易体制の撤廃などを含む政策の実施に焦点を合わせている。委員会は 2016 年の国連総会に報告書を提出する。

労働安全衛生のメカニズムに対する攻撃

PSI は ITUC と協力して、労働安全衛生管理システム (OHS-MS) に関して協力するために 2013 年に ILO と国際標準化機構 (ISO) との間で、ISO 基準が国際労働基準に抵触すべきでないこと、そして ILO がその過程に有効に参加すべきであることを条件にして交わされた了解書(MOU)の実施に関連して、ILO における話し合いに参加してきた。PSI は、このイニシアティブに対して非常に批判的であり、ISO 基準は社会的パートナーが合意し、政府が規制・実施すべき事柄に関する基準を事実上外部に委託すること、そして民営化することにつながることへの懸念を表明してきた。MOU は 2 度にわたって更新されたが、この共同作業は大失敗に終わり、ILO は「ISO/DIS45001 は、効果的な労働安全衛生管理システムは国内の法律、規制、その他の法的要件に合致することが最低限の目標であるとする ILS の中核的原則を支持・尊重していない」というコメントを ISO に送らなければならないほどであった。現行の基準案は、ILO の権限を踏みにじるものなので、破棄されるべきである。国際標準化機構 (ISO) は 163 か国の国内基準機関をつなぐ民間の独立したネットワークである。ISO は政府間組織でもなければ、国連組織の一部でもない (国連経済社会理事会 COSOC の一般的な協議団体の地位を持っているが)。PSI は 64 か国の PSI 加盟組合に対して、行動を起こし、自国の政府、ナショナルセンター及び国内基準関連機関と接触することを要請した。

「健康は人権」に関するグローバルキャンペーン

2016 年に、PSI は PSI 保健作業班と PSI 地域機関の保健部門の会合から出てきた結果を土台にして、「健康は人権」に関するグローバルキャンペーンを開始する。このキャンペーンは、看護師と保健職員に最も直接的に関連する組織としての PSI のグローバルな地位を強化し、現在展開中の活動の様々な側面 (十分な資金を充てられた公的保健制度を提唱する活動、保健の民営化と商業化に反対する闘い、看護師対患者比率・労働安全衛生・給与・保健へのアクセスなどの保健職員のディーセントな労働条件の促進) をまとめることになる。また、(公的) 保健制度でどのように資金が使われているかについても考え、人材に対する投資を確保し、予防を優先させ、すべての人に人権としての保健を保障するために政府の責任を説明する一方で、同時に PSI は保健部門において貿易、税の公正、腐敗及び男女平等などの優先的キャンペーンをさらに中心課題に組み込むことを目指す。

予算面：予算計画の範囲内

EB-148 に対して以下を勧告する:

1. 本報告書に留意する。

はい/いいえ

関連文書:

- CHEEG documents and the Commission's [communiqué](#)
- PSI submission in [English](#)
- ILO [press release](#)
- ISO documents
http://www.iso.org/iso/home/standards_development/list_of_iso_technical_committees/iso_technical_committee_participation.htm?commid=4857129
- <http://www.world-psi.org/en/regulation-private-enterprise-indulges-private-sector-and-obstructs-public-responsibility>
- <http://www.world-psi.org/en/speech-rosa-pavanelli-ilc-2015>